

環境教育等促進法に基づく体験の機会の場

能代火力発電所および能代エナジウムパーク（秋田県）

認定事業者名：東北電力株式会社 能代火力発電所

活動を行うようになったきっかけ

能代火力発電所では、隣接する能代エナジウムパークとともに見学等を通じて、発電所が行う環境保全に係る取組や地球環境の大切さ、エネルギー資源の重要性について理解を深めていただくことを目的とした取組を行っています。



2016年3月1日付には能代火力発電所と能代エナジウムパークが秋田県初の「体験の機会の場」として認定されました。



能代エナジウムパーク

活動として行っていること

毎年、次世代を担う地元の小学生を対象に発電所の見学や身近な電気に関する体験学習を通じて、環境意識の醸成やエネルギーの関心を深めていただくことを目的にエネルギー・環境教室を開催しています。

また、地元工業高校生に対しても、エネルギー産業に対する理解を深めていただくことにより、将来における就職先の選択肢としてもらうことや、地元への居住定着につなげることを目的に電力セミナーを開催しています。



参加者の安全確保について

発電所構内の見学時には「見学案内における安全推進計画」及び「安全の手引き」に基づき、見学者の安全を確保しています。

発電所タービンフロア内等の重要機器が設置してある場所の見学では、はみ出し禁止の黄色ロープ内を歩くように現場でスタッフが指示しています。



朝のミーティング時にスタッフは定期的に「安全の手引き」の輪読を実施しています。また、朝・夕のミーティング時に見学予定、構内工事予定、ハチの目撃情報などについて情報共有するとともに、天候や現場状況に応じた注意事項について確認しています。

その他、非常時に備え、年に2回程度、避難誘導訓練を実施するとともに、消防署主催によるAEDを使用した普通救命講習会に参加しています(年1回)。

体験の機会への参加の状況について

2018年度における実績は、小中高等学校の他、福祉施設や各種企業など260の団体、5,708名の方々に見学等をしていただきました。



【参加した方の声】

- 発電所の設備や発電の仕組みを知れた。
- 各会社の業務内容を知ることができたので進路に活かしたい。
- 発電所の仕事の様子を実際に見ることで、就職に対して考えるきっかけになった。
- 能代工業の先輩たちの話を聞いて、会社への理解が深まった。
- 発電の仕組みや環境に対する取組について、理解することができた。
- 発電所内は大きい機械が多く、迫力があつた。
- アテンダントの説明が分かりやすく勉強になった。

地域や国、世代を超えた交流について

見学者は県内在住の方が多いいものの、中国や東南アジア、ロシアからの見学も数件あります。

環境教育としての効果について

見学者は、幼児から学生、企業・団体及び個人一般まで、老若男女を問わず広範にわたり、見学を通じて普段目にする事のない発電所設備等を実際に見聞いただくことで、発電所における環境保全対策について理解いただいています。

また、6月の環境月間では、次世代を担う地域の小学生を対象としたエネルギー・環境教室を毎年開催し、電気に関する体験学習や発電所内の見学を通して環境意識の醸成とエネルギーへの関心を深めていただいています。



終わりに

能代火力発電所並びに能代エナジウムパークの見学を通じて、発電所が行う環境保全に係る取組と、地球環境の大切さ、エネルギー資源の重要性について学んでいただければと思っています。

所在地・申込み方法

所在地 秋田県能代市字大森山 1-6

申込方法 平日 9:30 ~ 16:30 の間に、直接電話にてお申込みをしてください。

TEL : 0185-52-2955

見学時間はご予約に合わせて調整いたします。

発電所の見学をご希望の方は、1週間前までにご予約下さい。

詳しくは、HP をご参照ください。

HP: <http://www.tohoku-epco.co.jp/pr/akita/noshiro.html>